

令和4年度 こども園（保育園）関係者評価  
施設評価シート  
子育てセンターきぶね

**こども園（保育園）関係者評価委員会による評価**

対象評価： 最終評価  
評価日時： 令和5年 2月 9日（木） 13:00 ~ 14:30

**【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】**

学識委員 1名 地域委員 1名 保護者委員 2名

**【園の教育・保育目標】**

みんなの中で一人ひとりが生き生きと

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した  
こども園（保育園）評価の具体的な目標や計画】

遊びの中で 育ちあう ~ 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿より ~

**【評価基準について】**

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価	評価理由	最終評価	評価委員から
<b>I. 目標の理解</b> 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度初めや法人研修の際に確認をする機会を設けた。</li> <li>・職員会議や園内研修の機会を活用し、重点目標についての話し合いをしながら学び合い、振り返りを行った。</li> <li>・定期的に振り返り、見直す機会を設けることで理解を深め事に繋がっている。</li> <li>・具体的な活動と結び付けて考える機会を設けることで、より実践に繋がるようにした。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの心と体を解放しながら、幼児期までに育てたい10の姿に関連付け、活動に取り組んでいる様子が伝わってきた。</li> <li>また、子どもたちがそれぞれ課題に向かって取り組む姿や、子どもたちの姿を支える保育者の姿が参観の中で見られ、職員全体でグランドデザインを理解した上で子どもたちの対応をしていると感じた。</li> <li>・7つの特色に対して、絵本の貸し出しを通して家族の触れ合う時間を大切にしたり、サッカーや太鼓など教育・保育で取り組んでいる様子を発信したりと重点目標との繋がりを感じている。</li> <li>・子どもの姿を日々見て行く中で、子どもたちが活動に取り組むための保育者の種まきと対応や連続した活動の流れを感じることができているため。</li> </ul>
<b>II. 教育・保育の計画性と内容</b> 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間計画を基に、月間、週間の計画を作成していった。</li> <li>・週ごとの振り返りを行い、反省を活かしながら次の計画を立てていった。</li> <li>・子どもの興味・関心に合わせて環境を整え継続的に取り組めるようにしていった。</li> <li>・畑の環境を活かし、栽培から収穫、クッキング等まで継続的に関わられるようにしていった。</li> <li>・重点目標との関連も踏まえながら遊びの提供ができるようにしていった。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者へ次週の予定とねらいを配信されている。活動に対してどのような意図があり行っているか伝わっている。</li> <li>・活動を子どもたちが楽しむ中で、小さなPDCAサイクルの積み重ねが出来るよう、職員研修を通して人的、物的環境を整えることや活動の広がりを職員全体で考えて教育・保育に生かしているように感じた。子どもの様子から活動の中で経験したことが、自信や頑張る気持ちに繋がっていると感じている。</li> <li>・季節や時期に応じて、園内や畑、花壇などの環境を変化させていて、子どもも環境の変化から興味や関心を持っている姿が見られている。</li> </ul>

<p><b>III. 子どもにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. その暮らしさが認められる</li> <li>2. ゆったりとした生活</li> <li>3. 自然に触れて心行くまで遊ぶ</li> <li>4. いろいろな人の中で自分を知る</li> </ol>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども一人ひとりが充分に遊びを楽しめるよう、発達や姿に合わせた遊びを提供していった。</li> <li>・子どもの様子について職員間で共有し、子ども達が個々に気持ちを表現し、受け止められ、安心して過ごせるようにしていった。</li> <li>・園全体で子ども達を見守ることが出来るようにしていった。</li> <li>・製作や散歩などの機会に四季の自然に触れられるような活動と取り入れ、それぞれの季節の遊びを楽しめるようにしていった。</li> <li>・子ども一人ひとりの思いや権利を尊重する関わりについて学べるように、人権についての園内研修を行った。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の我が子の姿から、園に対して満足し、楽しんで過ごしているように感じる。園で様々な遊びを体験することで、より子どもたちの感性の育ちや興味関心につながっているように感じる。</li> <li>・運動会を参観し、子どもたち一人ひとりが課題に向かって生き生きと取り組んでいる姿が見られ、日々保育の中で充実感を感じているように思えた。</li> <li>・子どもが友だちのことを伝えるときに、その子のいいところを教えてくださいとある。保育者の子どもたちを見ている視線が、一人ひとりを認める・受け止めているからこそ、子どもたち自身も周りの人を認めたり、誠実な心が育ったりしていくことができると思う。また、信頼できる保育者の見守りの中で、自分の意志を持つことが出来ていると思う。</li> </ul>
<p><b>IV. ファミリーにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 気軽に相談できる</li> <li>2. いつでも保育に参加できる</li> <li>3. 必要な情報が得られる</li> <li>4. 保育を通して地域に親しむ</li> </ol>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎時や面談の機会に、保護者へ園での子どもたちの様子を伝えたり、相談等の時間を設けることで保護者とコミュニケーションを取ることができた。</li> <li>・行事への参観の機会やおたより、ブログ等のツールを活用し活動の様子などを発信していった。</li> <li>・散歩等の機会を通じて地域の環境に触れる事ができている。</li> <li>・コロナ禍の中で制限もあることを捉えながら、様々な方法を考えていく。</li> </ul>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談事があれば、面談の機会を設け、話をする事ができるため安心してきている。</li> <li>・送迎時に担任と話をしてほしいが、保育中ということもあり難しいところがあった。送迎時のコミュニケーションの様子も踏まえながら、保護者とのやりとりを試行錯誤してはほしい。</li> <li>・保育の中で大変だと思うがブログの頻度を上げてくれると嬉しい。</li> <li>・コロナ禍の中で、ブログの発信や保育の参観など、保護者に教育・保育の様子を知らせるために試行錯誤している様子は伝わっているが、実際に園内に入ることができず、不安を感じている保護者もいると思う。今後状況は変化していくため、園としてどのように保護者に歩み寄っていくのか期待していきたい。</li> </ul>
<p><b>V. 地域にとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 誰でも親しく訪ねられる</li> <li>2. 園の内容がよくわかる</li> <li>3. 緊急の時頼りになる</li> <li>4. 子育てに夢がもてるように</li> </ol>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育体験、職業体験などの受け入れの中で、地域の中高生と園児の関わりの機会を設けた。</li> <li>・園だより（地域版）発行し自治会を通して配布している。</li> <li>・民生委員、児童委員との協議会の機会を設け地域の方との繋がりを持てるようにした。</li> <li>・親子ひろば事業を通し、地域の子育て親子が園に遊びに来る機会を作っている。</li> <li>・プレ葉ウォークでの活動や園内での講座などの機会を設け、地域の方に参加してもらう中で園の雰囲気を感じたり、気軽に子育て相談ができるようにしていった。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・散歩の目的地としている牛舎も、地域の方に受け入れられているからこそだと思う。</li> <li>・園庭がオープンなイメージで、散歩先では出会った地域の方に挨拶したりと地域と良い関係性を気付いているように感じる。</li> <li>・親子ひろばやプレ葉ウォークでの活動を通して、地域の子育て世代が子育てに対して希望が持てるような動きをしていて良いと思った。また、利用を通して園を知ってもらう良い機会となると感じた。プレ葉ウォークでの活動の様子をぜひ参観したかった。また機会があれば教えてください。</li> <li>・民生委員としては、意見交換はできたが園児の活動を見学できなかったため、次年度以降は保育や子ども様子を見学できたらと思う。</li> </ul>
<p><b>VI. スタッフにとっては</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個性が生かされる</li> <li>2. 快適な職場づくり</li> <li>3. 生活や遊びの文化が伝えられる</li> <li>4. 視野を広げて自ら学ぶ</li> </ol>	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園内研修での学び合いや行事についての話し合いに意見を出し合い、園内で連携して業務に当たれるようにしていった。</li> <li>・それぞれが得意分野を活かして、協力して伝統行事等に関わっている。</li> <li>・それぞれが外部の研修や法人内での研修などに参加し、学んだ事を共有する機会も設けている。</li> <li>・クラス内でのコミュニケーションを取り職員間での連携をしている。</li> <li>・他クラスとの連携もより強くできるよう話し合いの機会をより多く持ち、クラスの様子や活動について周知できるようにしていく。</li> <li>・業務改善等にも繋がるよう職員間の連携を強めていく。</li> </ul>	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の対応の仕方などから保育のプロであると感じ、日々感謝している。</li> <li>・職員の入れ替わりや年齢差のある職員集団ではあるが、良い雰囲気の中で、園全体で話し合いながら子どもたちのためによりよい環境や保育について取り組んでいる姿勢が伝わっている。</li> <li>・参観訪問時や小学校見学时に職員の様子を見たが、どの職員も明るく、子どもたちに丁寧な関わりや対応をしていた。また、学校見学に来た園児も、見学している時には静かでもナーが良い印象だった。平日頃の保育者の姿が子どもたちの姿となって表れているように感じた。</li> <li>・様々な業務で多忙さもあるが、効率化する中で、保護者も協力しながら働きやすい環境になっていくと良い。</li> </ul>